

こんにちは！古沢小学校のあり方協議会です。

昨年12月17日(火)に市立古沢公民館において第6回協議会を開催し、古沢小学校の再編の方向性について話し合いました。



◆古沢小学校の再編の方向性について◆

古沢小学校の再編の方向性について話し合い、本協議会としては、複式学級を早期に解消し、一定規模の人数を確保するために、古沢小・池多小・老田小の3校での枠組みが最もよいという結論に至りました。

そのため、協議会の方向性として、

「古沢・池多・老田小学校3校の統合に向けた話し合いを進める」こととしました。

【(統合ケース別)統合にかかる年数とメリット・デメリットについて】

統合年数	メリット	デメリット
呉羽地区の小学校が一斉に呉羽小学校へ統合する場合		
最低でも 10年以上	・呉羽中学校区として一斉に統合することにより、統合を繰り返す必要がない。	・統合後の児童数を収容できる施設がないことから、学校施設の整備に年数がかかり、その間複式学級が継続となってしまう。
古沢小学校、池多小学校の2校で統合する場合		
最短で 2年程度	・ケース別の内、最も早く統合が実現できると想定され、短期的には複式学級の解消が見込まれる。	・一時的には複式学級が解消するものの、最短で令和11年度より再度複式学級の編制が見込まれ、再度の統合が考えられる。
古沢小学校・池多小学校・老田小学校の3校で統合する場合		
最短で 3年程度	・比較的短い期間で統合が実現できると想定され、一時的には複数クラス(1学年あたり2クラス)の編制も可能となり、複式学級の編制は当分の間は見込まれない。	・児童数の減少により、いずれは再度の統合が考えられる。

◆地区説明会での活動報告について◆

1月23日(木)に、市立古沢公民館において、協議会の方向性やこれまでの活動について、地区住民の方々へ報告する地区説明会を開催しました。



長谷川会長(古沢地区自治振興会長)からのコメント

古沢小学校では、現在2つの学年が1つの教室で学ぶ複式学級が2つある状況です。このような状態を放っておくのはどうかと思い、古沢小学校のあり方について協議を進めてきました。古沢小学校は一昨年に創立150周年を迎えたばかりで寂しい思いはありますが、まずは、子どもたちにより良い環境で勉強してもらうということを優先して進めたいと思っています。

斉藤副会長(古沢小学校PTA会長)からのコメント

古沢小学校では、もう何年も前から複式学級がつけられている状況で、それが当たり前のようになっていました。ただ、老田小学校の見学に行って、改めて1学年1クラスという様子を見て、自分が子どもの頃はこれが学校の当たり前の姿だったなと痛感しました。私の子どものクラスでは、女の子が一人だけという状況も起きています。様々な課題はありますが、急いで対応すべき状況にあると思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。

参加された方からのご意見など

- ・自分が小学生のときに今の古沢小学校の校歌ができた。とても愛着がある。
- ・古沢小学校がなくなるのは大変寂しいが、やむを得ないのではないかなと思う。
- ・今回報告された内容が確実に小学校や保育所の保護者の方々の目に届くよう周知してもらいたい。
- ・富山市の再編計画では呉羽地域の全ての小学校を一つにするという案だったが、古沢・池多・老田の3校で一つになるという案のほうがよりいいと思う。

地区説明会での意見などを踏まえて、第7回協議会において、古沢小学校の再編の方向性について最終決定することとしております。

◆問い合わせ先(当協議会の事務局)◆

富山市教育委員会事務局 学校再編推進課(担当:高岡・大関)

〇所在 富山市新桜町6番15号 Toyama Sakuraビル 7階

〇電話 076-443-2241 〇FAX 076-443-2194

〇E-mail gakkousaihen@city.toyama.lg.jp

※本協議会の模様は市ホームページ(右記QRコード)にて公開しています。



協議会の内容はこちらから